



共栄小だより

〈年度の重点〉 「主体的に学び、共に考え、やり抜く子どもの育成」

旭川市立共栄小学校 学校通信 令和5年度 第8号 令和5年10月31日



東側校門横のイチョウが鮮やかな黄色に変わり目を楽しませます

校長室から

校長 鎌田 昌記

～子どもたちにとっても実りの秋です～

秋も深まり、木の葉が鮮やかに色づき舞い散る季節となりました。晴れた日には澄んだ青空の下、白く染まった大雪山が見え、冬がすぐそこまで来ているを感じさせます。朝夕の冷え込みは日増しに厳しくなってきましたが、手がかじかむような寒い朝でも、共栄の子どもたちは元気に登校し、勉強や運動などに一生懸命取り組んでいます。秋は実りの季節と言われますが、共栄っ子にとっても実り多い時期となっています。

10月には、主な行事として、上旬のマラソン記録会、そしてつい先日には第37回目を数える学習発表会を行いました。

マラソン記録会は学年ごとに体育の時間に実施しました。5分間で走った一人一人の距離を記録するもので、「最後まで走り続ける」「目標タイムを超える」など、各自で決めた目標に向かって本番に臨みました。練習の時よりも記録を伸ばしたり、去年のタイムを超えたりした子が多くおり、確かな成長を感じさせました。体力向上はもちろんのこと、目標に向かって地道に頑張ることの大切さを学び取ったことと思います。

学習発表会は、26日に児童公開、28日に一般公開の形で実施しました。日頃の授業などで学んだ力をステージ上で発表する内容で、群読や歌、器楽演奏、ダンスや演劇など、学年ごとに工夫をこらして、見事なパフォーマンスを繰り広げました。昨年はコロナの影響で、ステージに上がる子どもたちの人数制限や、距離をとるなどの制限を設けましたが、今年はそうした制限をやめ、子どもたちがのびのびと表現し発表できるようにしました。また、一般公開についても、ご家庭ごとの来校人数の制限をなくし、保護者をはじめご家族の方々にも見ていただくことができました。この取組を通して、子どもたち一人一人が、本番に向けコツコツと練習を重ね取り組んだことや、学級や学年の仲間と励まし合いながら一つの目標に向かって協力したこと、発表を通じて身に付けた表現力や創造力などを今後に生かして行ってほしいと心から願っています。

ICT機器を正しく使う力を子どもたちに身に付けさせるために

～情報端末がもたらすメリット・デメリットを知る～

今やICT機器は、私たちが生活する上で必需品となりました。これからの時代においては、機器を正しく使いこなせる力を身に付けさせることが重要であり、それを教えていくことは、学校のみならず、ご家庭においても求められます。先月号でも、ICT機器の正しい利用方法について、お子さんとお話をさせていただくことの大切さをお知らせいたしました。各機器・アプリに関するメリット・デメリットをまとめましたのでご一読いただき、お子さんとのお話に生かしていただければと思います。

	アプリ等	メリット	デメリット	長時間使用等に伴うデメリット
スマホ PC タブレット ゲーム機器 	動画,サブスク商品、ゲーム、音楽、コミックなど	Entertainment 娯楽・楽しみの享受	著作権侵害,有害情報,粗暴な言動の誘発,心身への各種悪影響	視力低下 昼夜逆転等生活習慣の乱れ 睡眠障害 体調不良 精神的不安定 依存症 
	LINE,X(Twitter),FacebookなどのSNS,メール,ゲーム付属のチャット機能など	Communication 情報受発信、意思疎通、意見交流	誹謗中傷,いじめ,詐欺被害,誘い出し,有害・虚偽情報,犯罪予告	
	ネット検索,Wikipedia,地図,知恵袋など	Intelligence 知識,情報の検索・確認・獲得	フェイクニュース,記憶力低下 有害・虚偽情報	
	インスタグラム,Youtube,TikTok,配信動画など	Visualization 写真や動画の記録,保存,閲覧	フェイク動画,肖像権侵害,位置情報流出 不適切動画・写真	
	楽天,Amazon,Yahooショッピング,メルカリ,チケット販売,ネットバンキング,行政手続きなど	Shopping and Contract 迅速で利便性の高い契約,購入,予約,手続き	詐欺被害,高額課金,個人データ流出,ハッキング被害	